



第8回フードバンク こども応援全国プロジェクト 活動報告書



一般社団法人全国フードバンク推進協議会

給食のない長期休みの期間にこそ子どもたちを支援したい

一般社団法人全国フードバンク推進協議会は、2021年から給食のない夏休みや冬休み期間中に「フードバンクこども応援全国プロジェクト」を実施しています。

「フードバンクこども応援全国プロジェクト」は、子どものいる困窮世帯への食料支援を全国拡大するために加盟フードバンク団体とともに実施しており、多くの企業・団体・個人の皆様からのご支援により、この度8回目のプロジェクトを実施することができました。

本プロジェクトでは、ご賛同いただいた協力企業の皆様からたくさんの食品をご寄贈いただいたことで、36,756世帯の子育て世帯に食品を届けることができました。

本プロジェクトを支えてくださった皆様への感謝を込めて、ご報告させていただきます。

■協力企業の皆様

※五十音順



企業の皆様からの多大なるご支援により、本プロジェクトにおきましては、参加フードバンク団体様を通して、支援を必要とされる36,756世帯の皆様を提供いたしました。

■参加フードバンク団体の皆様

第8回フードバンクこども応援全国プロジェクトでは、過去最高となる47の加盟フードバンク団体様にご参加いただきました。全国のフードバンク団体様にご参加いただいたおかげで、本プロジェクトでは36,756世帯に食の支援を行うことができました。

誠にありがとうございました。

- NPO法人フードバンクイコロさっぽろ
- 認定特定非営利活動法人フードバンク岩手
- 一般社団法人フードバンクいしのまき
- NPO法人フードバンク茨城
- NPO法人フードバンクあしかが
- NPO法人フードバンクネット西埼玉
- NPO法人フードバンクいるま
- NPO法人フードバンクふなばし
- NPO法人フリースタイル市川
- とうかつ草の根フードバンク
- NPO法人フードバンク調布
- NPO法人フードバンクTAMA
- NPO法人フードバンク八王子えがお
- NPO法人フードバンク狛江
- 認定NPO法人フードバンク湘南
- フードバンクにいがた
- NPO法人新潟県フードバンク推進協議会
- フードバンクしばた
- フードバンクながおか
- 認定NPO法人フードバンク山梨
- NPO法人NPOホットライン信州
- NPO法人POPOLO
- NPO法人フードバンク愛知
- 一般社団法人フードバンクびわ湖
- フードバンク滋賀
- フードバンク泉佐野
(NPO法人キリンこども応援団)
- フードバンク神戸
(NPO法人神戸子ども食堂ネットワーク)
- 認定NPO法人セカンドハーベスト京都
- 認定NPO法人フードバンク京都
- NPO法人フードバンク奈良
- NPO法人フードバンク和歌山
- 順正デリシャスフードキッズクラブ
(学校法人 順正学園)
- 認定NPO法人ハーモニーネット未来
- NPO法人フードバンク山口
- フードバンクうわじま
- NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン
- フードバンクありあけ
- ふくおか筑紫フードバンク
- NPO法人いるか
- NPO法人フードバンク飯塚
- 一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき
(つなぐBANK)
- フードバンクひのくに
- 一般社団法人L A L A S O I C A L
(フードバンクみやざき)
- フードバンクてしおて
(NPO法人てしおて)
- フードバンクそお
- フードバンク大隅
- NPO法人フードバンク奄美



NPO法人フードバンクイコロさっぽろ



認定NPO法人セカンドハーベスト京都

■支援実績

実施時期：2024年12月1日～2025年1月31日

支援対象：子どものいる困窮世帯

支援世帯数合計

36,756世帯

直接支援*

23,709世帯

間接支援*

13,047世帯分

*直接支援：子ども食堂等の他団体への提供分を除いた、

自団体から支援世帯へのパントリー活動や配送による延べ支援世帯数（お弁当は除く）

*間接支援：パントリー活動等を行う子ども食堂等、他団体へ提供した食品の重量を世帯数に換算

■活動の様子

①企業様からの食品寄贈

今回のプロジェクトでも、たくさんの食品を寄贈していただきました。

おかげさまで、36,756世帯に食料を提供することができました。



NPO法人フードバンクイコロさっぽろ



順正デリシャスフードキッズクラブ

②提供する食品の箱詰め

参加フードバンク団体様から子育て世帯へ向けて、色々な食品を（メッセージカード等とともに）一世帯分ずつ箱に詰めていただきました。



認定特定非営利活動法人フードバンク岩手



NPO法人フードバンク福岡

③フードバンク団体の活動の様子

フードバンク団体のスタッフやボランティアの皆様をはじめ、たくさんの方々にご協力いただきました。



認定NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン



認定NPO法人フードバンク山梨

④食品のお渡し・発送

箱詰めした食品を子育て世帯へ直接配送する他、各地のフードパントリーや子ども食堂等を通じて、食品支援を実施しました。



フードバンクひのくに



フードバンクそお（財部町身体障害者協議会）



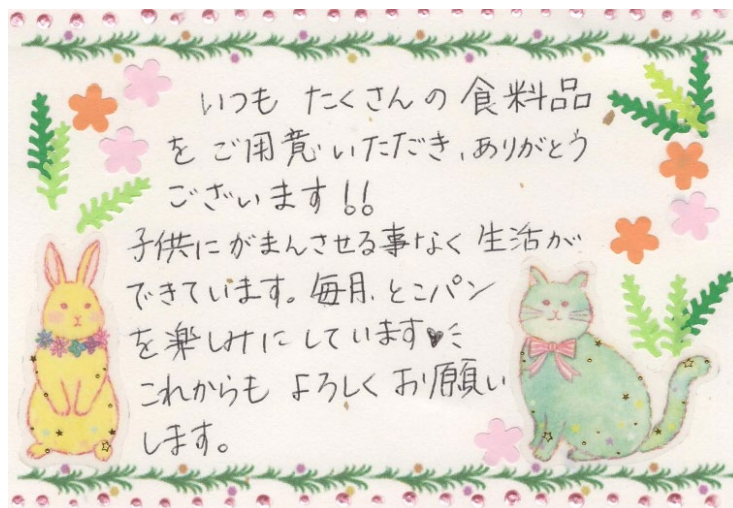
フードバンク滋賀



ふくおか筑紫フードバンク

⑤利用者さまからの声

利用者の方々から感謝のメッセージをいただきました。



その他、過去の各団体の活動記録は当会ホームページにもリンクがあります。ぜひご覧ください。

URL : <https://www.fb-kyougikai.net/kodomooouenproject>

■団体様からのご感想

プロジェクトに参加されたフードバンク団体様から
ご感想をいただきました。



認定NPO法人フードバンク山梨 スタッフ 秋山綾乃さん

今回は皆さんにクリスマスを楽しんでいただきたく、簡単にケーキが作れるセットを全世帯にお送りいたしました。「物価高騰でケーキがとても高く、購入を諦めていたのでケーキセットが嬉しかったです」との声も届き、楽しいひと時のお手伝いできたことに大変喜びを感じています。



一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき 事務局長 山本倫子さん

長期休みの期間は給食がないため寄贈の数が多いと助かります。また、クリスマスやお正月もあり、特に物入りの時期のため余分な食料が購入できない家庭が多くあります。特に冬の支援はお餅やゼリー・お菓子などがあると喜ばれます。今回も沢山のお菓子を子ども達に渡すことが出来ました。クリスマス前だったので、とても喜んでくれました。



NPO法人フードバンク奈良 代表理事 平川理恵さん

「子どもたちが喜ぶお菓子が入っていて嬉しかった」「レトルトなど冬休みに食べられるものがあったかった」などの声をいただきました。物価高騰の影響などで、年々希望者が増えていて、食品が足りない状況ですので、寄贈して頂けるのは大変助かります。



フードバンク滋賀 副代表 中村さん

こども応援プロジェクトにはこれまで何度も参加させて頂いております。冬季では休みが短く、活動日も比較的少ないので工夫が必要でした。今回は特に冬休み期間の子どもたちへの応援として軽食やお菓子を強化してお届けしました。全国的に物資不足の中、助成金も活用しながら物資を充実させました。併せて皆様からの物資も大変役立ち、要支援者世帯は大変喜んでおられました。しかし課題としては子どもの数が多く、物資がすぐに無くなってしまうこともあるので更なる物資収集に努力しなければならないと感じました。



ふくおか筑紫フードバンク 運営委員長 松川政満さん

これまで一人親世帯や困窮家庭を含む約2500世帯へ毎月配布を行ってきました。現在の価格高騰の状況を受け切実なご家庭の声が多く聞かれるようになりました。今回のプロジェクトに参加し、寄贈をいただいた商品を手にとられたご家庭からは「子どもに我慢させてばかりなのでお菓子は助かります」「ありがたい企画と取り組みを受け、また頑張ろうと思えました」「気持ちが明るくなりました」など感謝のお言葉がたくさん届いております。



NPO法人フードバンクネット西埼玉 代表 丸茂真依子さん

食品を受け取った方から、子どもにごはんの量について我慢させることも多かったが、今回の支援によって、冬休みの間に我慢をさせることなく食べさせることができた、とメッセージをいただきました。食品を提供いただけたこと、大変ありがたく存じます。

■団体様へのインタビュー

プロジェクトに参加されたフードバンク団体様へ、インターン生と共に弊社よりインタビューを実施しました。

〈NPO法人フードバンクTAMA 事務局長 芝田様〉

Q.今回のプロジェクト期間中は具体的にはどのような活動を行いましたか

春、夏、冬の給食のない長期休み期間中に、こども応援プロジェクトを実施しておりますが、今回の冬のプロジェクトでは思い出づくりとして、ひとり親世帯にホールケーキをお配りしました。

クラウドファンディングで資金を集めて、200個ほどを12月20～23日にかけて、お配りしました。ケーキをお配りした家庭の子どもたちからの喜びの声をいただいております。



普段の活動の様子（フードバンクTAMA様）

Q.フードバンクTAMA様の普段の活動内容を教えてください

企業や一般家庭からいただいた食品を、ひとり親家庭へ配布することを最優先に行っております。

また、多摩地域で活動しているフードバンク団体の活動に対する支援も行っております。多摩地域は小さな行政がたくさんあり、予算が少なく、人口も多いところと少ないところの差が大きいので、それぞれの規模に見合ったフードバンクを応援していきたいと思っています。



弊社でのインタビュー時の様子（インターン生）

Q.子ども無料塾や子ども食堂との連携について教えてください

基本的には私たちから支援が必要な団体を探して連絡をとったり、社会福祉協議会を通して連絡したりするのですが、今は私たちのことを知って、支援団体の皆様からたくさんの連携の依頼がきております。

連携している子ども食堂で、月1、2回ほど開催しており、子ども無料塾にはできる限りの支援を行っております。高校の進学を諦めていた生徒に、教材を提供し1年間伴走したことで、希望した高校に入学できたという話などをお聞きし、学習支援の大切さも強く感じています。

Q.支援を必要とする家庭の子どもへの生活必需品のサポートとして、どのようなものを提供していますか

いただいた寄付で足りないものは購入して提供をしたり、リサイクルショップやバザーで余っている衣服や文房具を寄付していただくこともあります。

また、食品を取りに来られるひとり親家庭の方々から、他にも困っているものがあるというお話を伺うので、企業様にお声がけして、社内でフードドライブを開催したりして収集しています。特に幼児のお洋服は、1年ごとに新しいものになるのでとても喜ばれます。

■団体様へのインタビュー

〈NPO法人フードバンクあしかが 理事長 高沢様 副理事長 吉田様〉

Q.今回のプロジェクトでの具体的な活動内容と、印象的なエピソードを教えてください

夏休みや冬休み期間は学校給食がないため、子どもの栄養状態が悪くなるご家庭がいらっしゃいます。そのご家庭に自治体の相談員の方が食品を届けているのですが、その際に提供する食品は、本プロジェクトにご協力いただいている企業様からの寄贈品を活用させていただいております。また、冬休み中のクリスマス時期には、トナカイやサンタの格好をしながら食品を届けたりしています。荷物の一番上にお菓子を置いて渡すと子どもたちはとても喜んでくれます。子どもたちが自分より大きい荷物を持ち帰ろうとする姿を見ていると、私達も時間がない中でも頑張って袋詰めしてあげたいという気持ちが湧いてきます。

過去には、私たちが以前支援していた方がフードバンクへ寄付をしに来てくれたことがありました。正社員として就職し、別の市に引っ越すことになったので、最後にフードバンクにお礼に来ましたと言って、食品やお菓子を持ってきたくださったことがありまして、あれはもう涙が出ましたね。一回の支援だけではなく、そういう善意の輪が広がり、支援の心が広がっていくのは素晴らしいと思いました。



普段の活動の様子（フードバンクあしかが様）



弊会でのインタビュー時の様子
（事務局・インターン生）

Q.活動にあたって大切にしていることや理念について教えてください

人はとても弱く、ちょっとしたことでつまづき、失敗もします。そういう時に助けてくれる人がいるということが、また新たに踏み出す力やその人を守る力になると思います。

同時に、そういう力にフードバンクがなれたらと思っています。もう一度やり直すチャンスを作るためのお手伝いできれば、その人は元の生活に戻れたり、もしかしたら今度は誰かを助けてくれるかもしれない。一人を守るだけでなく、社会全体にそういう気持ちが溢れていけば、より平和な世の中になるのでは、という気持ちで活動しています。

Q.普段の活動内容について教えてください

私たちはまだ専従スタッフがおらず、都度連絡があった際に事務所や倉庫を開けるという形で活動しています。

また、食品の寄付を集めていただく場所（フードドライブボックス）が市内にはいくつかあり、ショッピングセンター内や企業の事務所の中、さらにはコンビニにもフードドライブボックスが設置されています。この回収を、ガソリンスタンド運営会社様ご協力のもと、市内のフードドライブボックスを周っていただき、私たちの倉庫まで届けていただいております。

■団体様へのインタビュー

〈NPOホットライン信州 専務理事 青木様〉

Q.本プロジェクト期間や、平常時はどのようなご活動をされていますか。

私たちは、地域の行政や、社会福祉協議会、地元の企業様等と連携して、フードバンク活動を行っております。また、共食（家族などと一緒に食事をとること。）のできるこども食堂へ食料の提供も行っております。また、松本市では、ショッピングセンターのバロー南松本店でこども食堂を月1回開催しております。1回に、およそ300名ほどの方にご参加いただいております。

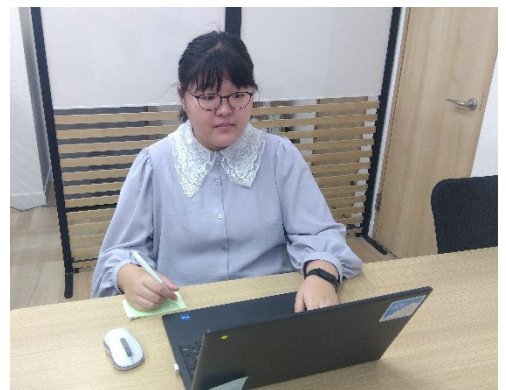


普段の活動の様子（NPOホットライン信州様）

Q. NPOホットライン信州さんの活動において、最も大切にしていることは何ですか。

一番大事にしているのは、支援を必要としている方々との信頼関係の構築です。共食をすることで、信頼関係が生まれ、自己肯定感が高まり積極的に行動するようになりました。

例えば、孤立している親子が、食育活動や食料支援をきっかけに明るく元気になり、不登校から回復し「生き抜く力」が生まれてきました。



弊会でのインタビュー時の様子（インターン生）

Q.この活動を続けるための原動力は何ですか。

活動を通じて、共食や食育活動をすることで、子どもたち親子の笑顔で元気な姿を見ることが一番の喜びです。親子の笑顔と元気は、私たちにこの活動を続ける使命感を与えてくれます。それこそが私たちの原動力です。

こうした活動を支えるために、地域の人々の協力も不可欠です。みんなの支え合う心と力合わせをしながら、続けていきたいと思っています。

インタビューを終えての感想

NPOホットライン信州の活動が単なる食品の提供にとどまらず、地域全体の絆を強め、子どもたちにとって大きな支えとなっていることが伝わってきました。信頼関係の構築や学校との連携を大切にし、困っている人々に手を差し伸べ続けるその姿勢に、私も勇気づけられました。今後のインターン活動においても、自分のアクションが困りの方の一助となれるよう、精一杯取り組んでまいりたいと思います。

インタビューにご協力くださった、団体様の記事の内容を一部抜粋して掲載しています。

その他の団体様の記事は弊会HPよりご覧いただけます。

URL：<https://www.fb-kyougikai.net/kodomooouenproject-8>

■全国フードバンク推進協議会の活動概要

全国フードバンク推進協議会は、フードバンク活動の推進のために、政策提言活動やフードバンク団体の育成などを行っています。

今後とも企業様や加盟フードバンク団体との連携を通じ、食品ロスの削減と貧困問題解決に向けて活動してまいります。

政策提言・調査研究

フードバンク活動は日本ではまだ歴史が浅く、活動を推進するための法の整備も十分ではありません。そのため関係省庁への政策提言や調査研究事業を行っています。



フードバンク団体の育成

フードバンク団体数の増加や各団体の基盤強化のために、フードバンク団体への情報提供、コンサルティング、研修会の開催、新設団体の立ち上げ支援を行い、フードバンク団体の活動をサポートしています。



フードバンク活動が
持続的に発展できる
豊かな土壌を
作ります

広報活動

フードバンク活動の認知度や信頼性を高めるため、フードバンクこども応援全国プロジェクト等を通して普及啓発活動に取り組んでいます。



資源の分配

全国各地のフードバンク団体と企業とのマッチングの窓口となることで、食品や活動資金、知的財産等、フードバンク活動の推進に必要な資源の分配を行っています。



一般社団法人
全国フードバンク推進協議会
www.fb-kyougikai.net/

〒169-0074

東京都新宿区北新宿1丁目8-17 土方ビル 7F

Tel: 03-6912-9444

Email: info@fb-kyougikai.net

Facebook : <https://www.facebook.com/foodbankalljapan/>

X (旧Twitter) : <https://twitter.com/fbkyougikai11>

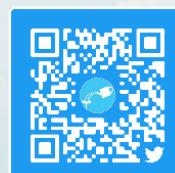
弊会HP



ご寄付について



X(旧Twitter)



Facebook

